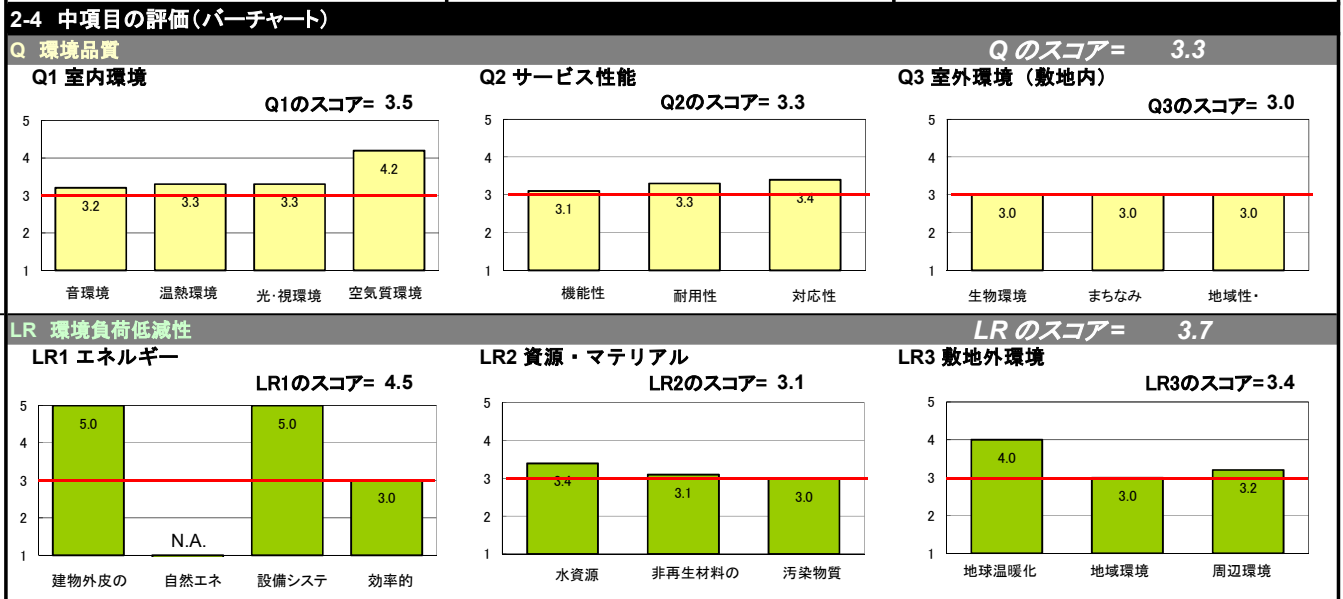
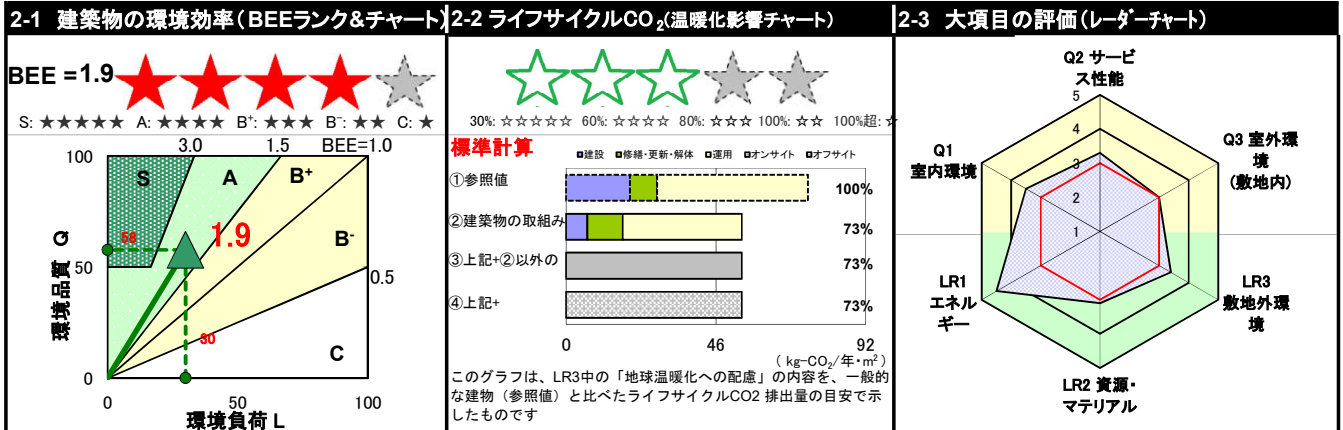


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要					
建物名称	(仮称)福岡市中央区荒戸三丁目計画新築工事		階数	地上14F	
建設地	福岡県福岡市中央区荒戸3丁目104		構造	RC造	
用途地域	商業地域、準防火地域		平均居住人員	404 人	
地域区分	7地域		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅		評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年2月 予定		評価の実施日	2024年11月1日	
敷地面積	1,854 m ²		作成者	株式会社エヌプラスアーキテクトデザインオフィス 中尾 俊平	
建築面積	1,001 m ²		確認日	2024年11月1日	
延床面積	8,667 m ²		確認者	株式会社エヌプラスアーキテクトデザインオフィス 中尾 俊平	



3 設計上の配慮事項		
総合	CO2排出率の減少のために努力しています。	その他 特になし。
Q1 室内環境	遮音、採光、汚染化学物質について、設計施工の方法と建材下地の使用を配慮しています。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑化計画に努力しています。
LR1 エネルギー	建物の低炭素化について、断熱等性能の向上と一次エネルギー消費量の減少を配慮しています。	LR3 敷地外環境 街並みに対して、周辺道路の渋滞緩和と照明の漏れる光を配慮しています。
Q2 サービス性能	躯体、内装、外装、配管について、耐用年数の長い建材を使用しています。	
LR2 資源・マテリアル	エコ対策について、節水機器、仕上げ材の下地に軽量鉄骨を使用しています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される